

連携

栗原市立栗原中央病院
広報誌 令和8年2月発行
編集 地域医療連携室

第97号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

新年のご挨拶

昨年は大変お世話になり感謝申し上げます。今年もよろしくお願ひします。

2026年はスポーツYEARであり1月の箱根駅伝で始まり2月はミラノ・コルティナ五輪、3月はWBC、6月はサッカーワールドカップと感動と興奮の日々が続きます。医療では病院経営に直結する診療報酬改定とハラハラとドキドキが続きます。

日本では江戸時代から続く暦の迷信である60年に一度の「丙午」でもあります。丙午の年には一時的に出生数が減少しました。1966年度の出生数は前後年と比べると25%減になっています。60年前は迷信でこれほど影響があることに驚きです。

栗原市はこの迷信とは関係なく少子高齢化による人口減少が加速度的に進んでいます。高齢化の進

看護部長
千葉 恵美



行に伴い、独居や老々世帯、認知症や複数の疾患を持つ患者が病気の治療をしながら地域で暮らすことがますます増加すると予測されます。ひとりひとりの患者様が、療養の継続ができる環境が整い退院できることが重要となります。医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制を整備していくことで患者様や家族様が安心して自分らしく暮らすことができると考えます。患者様が生活する場で支援する地域の看護者と病院の看護師とのさらなる連携強化が必要となります。今後さらに努力してまいりますので、皆様よろしくお願ひいたします。



部長室の皆さん

部署紹介①

【5階西病棟】

副看護部長兼看護師長

渡部 輝美



2025年1月より地域包括医療病棟として、病床数60床（感染病床10床含む）で運営しております。スタッフは10対1の看護配置に加え、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、看護補助者と高齢者医療に必要な多職種を配置しています。

地域の高齢化率は43.2%と県内で最も高く、高齢者の救急搬送者数が増加しています。急性期病棟に入院した高齢者は治療を受けている間に離床が進まずADLが低下し、回復期の病院へ転院することになり在宅復帰が遅くなるケースがあります。また、高齢者の入院患者は、誤嚥性肺炎や尿路感染とい



った疾患が多く医療資源投入量の少ない傾向にあり、急性期を担う病院とは医療資源投入量がミスマッチとなる可能性があります。誤嚥性肺炎においては、早期のリハビリテーション実施が死亡率の低下とADLの改善につながることを示されており、加えて高齢入院患者の栄養状態不良と、生命予後不良は関連がみられます。

以上のような課題を受けて地域において、リハビリテーション、栄養管理、入退院支援、在宅復帰等の機能を包括的に提供することを目的としています。



部署紹介②

【リハビリテーション科】



皆様、こんにちは。栗原中央病院リハビリテーション科です。当科は、リハビリ科科長（整形外科部長兼任）のもと、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など総勢 28 名の専門スタッフが在籍し、患者様中心の医療サービスを提供しています。

■ 365 日、早期復帰を支える新体制

2025 年（令和 7 年）1 月に新設された「地域包括医療病棟」では、専従のリハビリ職員を配置し、多職種協働による 365 日体制の早期リハビリテーションを開始しました。骨折や脳血管疾患、がん、呼吸器疾患など、幅広い病気に対して発症後すぐから集中的、包括的なサポートを行っています。

■ 専門的な心臓リハビリテーション

「心臓リハビリ指導士」の資格を持つ療法士が 5 名在籍しており、心疾患患者様の体力回復や再発予防を目的とした、専門機器（CPX）による負荷試験に基づく安全で効果的な運動療法を実施しています。

■ 住み慣れた地域での生活を守る

私たちは、退院後も患者様が安心して暮らせるよう、地域のケアマネジャーや介護施設と密に連携し、ご自宅の環境調整や介助のアドバイスも行っています。地域の医療・介護機関の皆様と手を取り合い、一貫した支援を目指します。

栗原中央病院リハビリテーション科は、患者様や地域のための充実したリハビリテーション医療の提供ができるよう、宮城県内の病院、栗原市内とその近隣市内の医療機関、介護施設等の皆様との連携に取り組んでまいります。皆様の御協力の程、宜しくお願いたします。



新規採用医師紹介

令和 8 年 1 月 1 日付で採用となりました。よろしくお願いいたします。



整形外科 副医長 たもり だいと 田森 大登 先生

仙台医療センター救急科専攻医の田森大登です。1 月より 3 月末まで地域医療研修として整形外科に勤務いたします。外傷診療や日中の救急対応、院内急変等に積極的に携わり研鑽を積む所存です。微力ながら貢献できるよう努めますので、よろしくお願いいたします。



がんサロン「サロン de よらいん」



当院では毎月第2火曜日（14：00～15：30）にがんサロン「サロン de よらいん」を開いています。がん療養中の方やご家族・がん体験者が集まり、お茶を飲みながらお互いの体験や気持ちを語り合ったりしています。

12月9日（火）のサロンではスノードーム作りを開催しました。サンタさんにも参加いただきクリスマスらしい雰囲気の中で素敵な作品が出来上がりました。

これからも不定期ではありますが、こういった体験活動を取り入れていきたいと思っておりますのでお気軽にご参加ください。



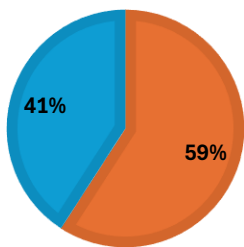
アンケート結果についてのご報告

前号にて皆様にご協力いただきました「連携誌等発送につて」のアンケートについての集計結果をご報告させていただきます。



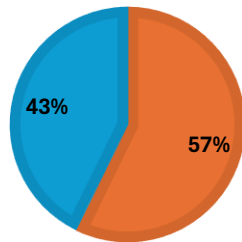
連携誌につて

- これまで通り紙面の郵送を希望する
- メールでの送付を希望する



お知らせ・研修会等のご案内につて

- これまで通りFAX・郵送を希望する
- メールでの案内を希望する



*連携誌について

メールでの送信も多く希望がございましたが、実際に紙面を手にとっていただいたほうが心に残るのではないかと作り手の意見もあり当面はこのまま紙面を送付させていただくこととなりました。

*お知らせ・ご案内について

ご希望のあった病院・事業所様より新年度から順次メールのご案内へ切り替えさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



ご多忙中のところご協力ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。今年は何事も「ウマくいく」年になるといいですね。わが連携室も午年らしく、元気いっぱい駆け抜ける一年にしたいと思っております。皆様に笑顔と幸せがたくさん訪れますように。今年も一年よろしく願いいたします。

栗原市立栗原中央病院

〒987-2205

宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

(代表) TEL：0228-21-5330

FAX：0228-21-5350

地域医療連携室

(直通) TEL：0228-21-5335

FAX：0228-21-5336

<https://www.kurihara-central-hp.jp/>